ポスター発表 9月7日（金）18:00-19:00　ポスター会場（会議室B）

演題番号	登録番号	筆頭演者名	筆頭演者の所属機関名	演題名
P-1	20180069	李　瑋静	神戸大学大学院 農学研究科	黒大豆ポリフェノール含量の品種並びに栽培年度での差について
P-2	20180070	日高　楓	宮崎大学 農学部 応用生物科学科	マンゴーに含まれる成分と抗酸化活性に及ぼす熟度の影響
P-3	20180096	望月　花純	静岡大学 教育学部	生姜と緑茶を組み合わせた脂肪蓄積抑制効果～生姜機能成分に着目した検討～
P-4	20180001	秋山　竜司	東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科	コーンシルクの抗アレルギー効果における作用メカニズム解明について
P-5	20180024	山本　美桜	神戸大学大学院 農学研究科	クロダイズの非アルコール性脂肪肝炎予防効果について
P-6	20180057	田中　航	宮崎大学 農学部	黒大豆種皮抽出物の摂取が脂質代謝・動脈硬化形成へ及ぼす影響
P-7	20180036	塩越　美春	お茶の水女子大学院 人間文化創成科学研究科	閉経期モデルマウスにおけるピセアタンノールの脂肪蓄積抑制効果
P-8	20180064	中田　理恵子	奈良女子大学 食物栄養	レスベラトロールと運動の併用による骨格筋代謝改善効果
P-9	20180033	中野　恵理子	昭和大学大学 薬学部 社会健康薬学講座	カテキン誘導体化合物によるアレルギー性接触皮膚炎に対するサイトカイン抑制効果
P-10	20180008	佐藤　惇	花王株式会社 研究開発部門 安全性科学研究所	細胞膜リン脂質への作用に着目した*Bacillus　coagulans*に対する カテキン類の抗菌メカニズム解析
P-11	20180015	篠原　由衣	九州大学大学院 生物資源環境科学府	植物ポリフェノールの腸管出血性大腸菌の病原性抑制効果
P-12	20180112	升本　早枝子	徳島大学大学院 医歯薬学研究部	リンゴ由来プロシアニジン摂取が老化促進モデルマウスの認知機能に及ぼす影響
P-13	20180009	吉田　裕樹	九州保健福祉大学大学院 医療薬学研究科 生化学講座	高脂肪食誘導性肥満マウスにおける糖尿病病態に対する 糖転移へスペリジンの効果と作用機序
P-14	20180017	大庭　知慧	株式会社明治 技術研究所	高血圧自然発症ラットを用いたカカオポリフェノールの血圧上昇抑制効果に対する 乳たんぱくの影響
P-15	20180030	田　暁闊	神戸大学大学院 農学研究科	シカ肉の肝エネルギー代謝に関する研究

2枚目へ↓

1枚目へ↑

ポスター発表 9月7日(金)18:00-19:00　ポスター会場(会議室B)

演題番号	登録番号	筆頭演者名	筆頭演者の所属機関名	演題名
P-16	20180038	堂前　千晶	神戸大学大学院 農学研究科	黒大豆ポリフェノールの血管機能向上効果とその作用機構の解明
P-17	20180050	松山　弘希	宮崎大学 農学部 応用生物科学科	アポE欠損マウスを用いた天日干しダイコン摂取が脂質代謝へ及ぼす影響評価
P-18	20180053	荒川　航太	東京農業大学大学院 農学研究科　食品安全健康学専攻	緑茶カテキン類による抗加齢タンパク質SMP30発現の制御
P-19	20180054	小池　亮裕	神戸大学大学院 農学研究科	クロダイズ種皮由来ポリフェノールによる脂肪蓄積抑制効果とその作用機構
P-20	20180066	近藤(比江森)　美樹	徳島文理大学 食物栄養学科	フキノトウエキスの血糖値上昇抑制効果および活性成分の探索
P-21	20180029	唯根　菜々子	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	高γ-polyglutamic　acid納豆の単回摂取がヒトの食後血糖変動に及ぼす影響の検討
P-22	20180093	栗田　志保	鹿児島大学大学院 農学研究科 生物資源化学専攻	茶プルプロガリンの抗炎症機能及び細胞内分子機構に関する研究
P-23	20180091	濱元　志穂美	鹿児島大学大学院 農学研究科 生物資源化学専攻	ヒト乳がん細胞においてQuercetinのアセチル化はアポトーシス誘導を増強する
P-24	20180081	猿渡　春菜子	鹿児島大学大学院 農学研究科 生物資源化学専攻	ヒト肝臓がん細胞におけるケルセチンとその誘導体の細胞死誘導メカニズムの解明
P-25	20180079	西村　拓哉	大阪電気通信大学大学院 先端理工学専攻	シロイヌナズナ由来糖転移酵素UGT78D2の基質特異性を評価するための新規フラバン-3-オール誘導体合成研究
P-26	20180088	森下　裕菜	日本大学大学院 生物資源科学研究科 応用生命科学専攻	ガーリック由来香気成分diallyl　trisulfideはチオール基の酸化修飾を介して抗炎症作用を発揮する
P-27	20180005	Sukhbold Enkhtsetseg	北見工業大学 工学部	Effect of Sea Buckthorn Berry Extract on Release of Chemical Mediators from Mast Cells
P-28	20180025	安藤　知佳	お茶の水女子大学大学院 食品栄養科学領域	タモギタケ中のergothioneineの抗酸化機序に関する研究
P-29	20180047	髙橋　美帆	静岡大学大学院 総合科学技術研究科	新生仔マウスの胸腺、脾臓およびそれらの免疫機能の発達におけるCCL28の役割
P-30	20180048	丹下　真帆	静岡大学大学院 総合科学技術研究科	新生仔及び性成熟マウスのパイエル板発達に対するCCL28の役割
P-31	20180074	田口　千恵	お茶の水女子大学 寄附研究部門「食と健康」	尿中ポリフェノール排泄量と総ポリフェノール摂取量との関連性の検討

3枚目へ↓

ポスター発表 9月7日（金）18:00-19:00　ポスター会場（会議室B）

演題番号	登録番号	筆頭演者名	筆頭演者の所属機関名	演題名
P-32	20180085	井上　裕康	奈良女子大学 食物栄養	マウス由来初代培養心筋細胞に対するレスベラトロールの効果
P-33	20180045	福田　伊津子	神戸大学大学院 農学研究科	*In vitro* 培養系ヒト腸内細菌叢モデル(KUHIMM)を用いたケルセチンおよびその配糖体の影響評価
P-34	20180023	牧山　敦志	神戸大学大学院 農学研究科	Nrf2/ARE経路を介した薬物代謝酵素の発現調節機構に生理的濃度域のルテオリンが与える影響
P-35	20180039	井上　雅子	神戸大学大学院 農学研究科	酵素合成グリコーゲン(ESG)によるRBL-2H3の脱顆粒抑制効果
P-36	20180016	村田　希	九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門	デルフィニジンはマイクロRNA　Let-7b依存的に抗メラノーマ作用を発揮する
P-37	20180103	金　允喜	大邱大学大学院 食品栄養学科	Anti-colorectal cancer effect of 1, 2, 3, 4, 6-penta-O-galloyl-β-D-glucose through inducing P53, tumor suppressor
P-38	20180011	山越　正汰	早稲田大学 人間科学部 健康福祉科学科	細胞内タンパク質品質管理機構を標的とした食品の機能性成分の探索系の開発
P-39	20180018	小堀　亮	大阪電気通信大学大学院 先端理工学専攻	ラズベリーに含まれるフラバン-3-オール誘導体の分析研究
P-40	20180027	川永　芙美	お茶大院 食品科学	大根のGlucosinolate類・Isothiocyanate類の代謝吸収と機能性に関する研究
P-41	20180035	寺島　健仁	東京農業大学大学院 農学研究科	魚介類食中毒の原因物質であるパリトキシン類縁体オストレオシン類の構造研究
P-42	20180083	松原　孝典	産業技術短期大学 機械工学科	天然由来物質の酸化反応を活用する天然繊維の染色
P-43	20180084	佐藤　萌美	産業技術短期大学 機械工学科	アントシアニン色素の変色反応を活用する天然繊維の染色
P-44	20180028	新田　祥子	福山大学 グリーンサイエンス研究センター	生体内目的部位におけるカテキンの持続的放出を目指した新規生分解性カテキンネットワークポリマーの酵素合成
P-45	20180021	加藤　陽二	兵庫県立大学環境人間学部	レプトスペリン、メチルシリンゲート及びその代謝物の細胞を用いた代謝機構の解明
P-46	20180013	中山　舞	富山県立大学 工学部 生物工学科	異物抱合酵素発現酵母菌体を用いたスチルベン化合物の抱合反応の解析
P-47	20180019	岡野　やや子	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科	マヌカハチミツに含まれるケミカルマーカーの熱安定性について

4枚目へ↓

3枚目へ↑

ポスター発表 9月7日(金)18:00-19:00　ポスター会場(会議室B)

演題番号	登録番号	筆頭演者名	筆頭演者の所属機関名	演題名
P-48	20180042	大藏　直樹	帝京大学薬学部	黒酢もろみ末エタノール抽出物および分画物の食品機能の評価
P-49	20180049	中村　俊之	岡山大院 環境生命	青パパイヤ蒸留抽出液の生理活性および安定性の評価
P-50	20180055	北風　智也	神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科	芳香族炭化水素受容体の活性化による時計遺伝子発現の変化に対する食品因子の作用
P-51	20180059	庄野　花佳	鹿児島大学大学院 農学研究科 生物資源化学専攻	ヒト大腸がん細胞におけるQuercetinとその誘導体による細胞死誘導とROS産生の作用機序の解明
P-52	20180060	高橋　正和	福井県立大学生物資源学部生物資源学科	ハハコグサ(Gnaphalium　affine)の抗炎症機能成分と加工利用解析
P-53	20180063	加藤　麻衣	静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府	自然薯および自然薯むかごにおける有効成分ジオスゲニンの定量分析
P-54	20180068	榎本　泰大	前橋工科大学 工学部生物工学科	尿酸トランスポーターABCG2の発現を制御するフィトケミカルの探索・解析
P-55	20180087	渡辺　和希	富山県立大学 工学部	医薬品副作用軽減を目指した加水分解酵素阻害成分の探索
P-56	20180095	前迫　一輝	神戸学院大学 栄養	生体成分との親和性に関与するロスマリン酸の構造特性
P-57	20180098	奈良井　朝子	日本獣医生命科学大学 応生科	胆汁モデルミセルに含まれるホスファチジルコリンと茶ポリフェノールの相互作用
P-58	20180101	生城　真一	富山県立大学 工学部 生物工学科	部位特異的な硫酸抱合ケルセチンに対する加水分解反応の解析
P-59	20180062	永野　ひかる	大阪府立大学大学院 栄養療法学	アピゲニンによる大腸がん細胞悪性化の抑制とその分子機構の解明